

代 表 者

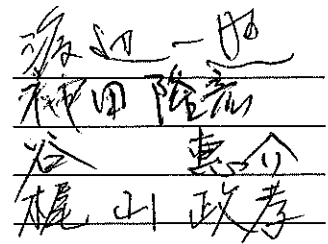


行 政 視 察 報 告 書

令和 4年 5月25日

各 会 派 代 表 者 様

呉市議会議員



次のとおり行政視察したので報告します。

1. 視察期日

令和 4年 5月16日(月), 17日(火), 18日(水)

2. 調査項目

静岡県 静岡市

東京都 豊島区

東京都 防衛省

3. 参加議員

渡 辺 一 照, 神 田 隆 彦, 谷 恵 介, 梶 山 政 孝

静岡県静岡市

■調査項目

トライアルパーク蒲原について

・調査対応者

静岡市建設局道路部 道路計画課 課長補佐兼企画係長 真継章夫
静岡市建設局道路部 道路計画課（企画係） 主査 渡邊泰史

・調査期日

令和4年5月16日（月）14時～15時15分

・静岡市の概要

人口 : 706,287人
世帯数 : 313,611世帯

・調査目的

道の駅構想におけるトライアルサウンディングの有用性の調査を行う

・調査内容

【静岡市からの説明】

静岡市では随分前から道の駅建設の要望が市民や様々な団体から挙がっていたが、長年それに応えることが出来ていなかった。令和元年8月に道の駅基本構想を策定し、市全体で6路線を抽出し、個別に検討するに至った。しかし新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い計画がなかなか思うように進まない事態となった。このような状況でコンサルに入っていた公共R不動産からの提案もあり、箱物ありきの道の駅構想ではなく、地元企業や個人でも参加しやすく、過機能化を避けられるトライアルサウンディング形式での道の駅整備を目指すこととなった。蒲原地区の特徴として人口1万程のコンパクトな町、水産加工業や自動車産業が盛んで地域と産業が密着して、旧東海道の宿場でもあり新旧混在した町である。富士山や駿河湾が一望できる魅力があり、ナショナルサイクルルートである太平洋岸自転車道が走っていてサイクリストは多い。国道一号バイパスも5,6万台の通行量があるが、わざわざ蒲原の街中を周遊する人は少ないのが現状。6路線の中で地元の熱や理解がしっかりあり、土地の寄付を受けたことで具体化がなされていたためこの蒲原が選定された。地元の要望として、町なかの活性化があることから、この場所が目的地化して終結するのではなく、サイクリスト等の周遊拠点として人が集まり賑わう場所としたい。

【質疑応答】

Q 隣接する国道はパイパスで、下りからは敷地に入れるが上りはどうか。

A 少し先にインターチェンジで一旦降りて引き返す形となる。この事業自体が道路一体型の道の駅整備を考えており、いずれ拡大が見込めてきた場合、国にお願いして整備をしてもらう。

Q 隣接する市有地は含まれないのか

A 現在もグランドゴルフや駐車場として市民が利用されており活用されている。トライアルパークの屋外遊技場として整備することも可能ではある。

Q この場所は寄付されたものであるとのことだが、その寄付がなければここが選定されることはなかったのか。

A 合併前から国道1号線沿いに道の駅設置の要望がなされていた。道の駅構想策定のタイミングで地元企業からの寄付があったことで、スムーズに進んだ。

Q その寄付を申し出た企業と、公募して決定された運営事業者は違うものか。

A 寄付を申し出た企業を含む新たな合同企業体である。

Q ほかに公募に応じた企業はあったのか

A 問い合わせは多くあったが、トライアルサウンディング型というのは企業側にとっては実はあまり利益の見込めないスキームであり辞退される方が多かった。選定された企業体は地元の為にと公募に応じられた。

Q 総事業費はいくら程か

A 内閣府の地方創生の拠点整備交付金が1億4000万ほど、ふるさと納税で2500万程である。

Q 普通の道の駅を整備した場合はいくらほどかかるのか

A PPP/PFIで通常の道の駅を整備した場合、土地を除いても27億かかるの見込んだ。それと比べるとかなり費用も抑えられており、運営上もリスクがかなり回避される。

Q 何を売りにしていくのか

A 削り節や桜エビなどいろいろあるが、地元の声を聞くと、実際はモノを売ることに力を入れるのではなく、まちなかの賑わいを求めていることが分かった。ここが拠点となり近郊が賑わうような場所としていきたい。

【呉市での展開の可能性】

呉市においても道の駅の整備によって地方創生を目指す声がある。しかし全国各地の駅を見ればその成果が大きく分かれ、リスクの高い事業でもある。呉市では天応のポートピアパークでの活用策で道の駅もその一つに挙がることがあるが、ハコ物ありきではなく、地元地域を始め市民が何を望んでいるのかが非常に重要になる。

そのなかでトライアルサウンディングというものは、まずは必要最低限のものを整備し、実際運営をしながら何が必要で、何が不要なものかが見え、過機能化されることなく非常に低リスクで、様々な人が関わることの出来る今の時代に合った手法であると感じた。

東京都豊島区

■調査項目

としまみどりの防災公園 IKE・SUNPARKについて

・調査対応者

豊島区年整備部公園緑地課	公園活用グループ	係長	吉沢志保
豊島区年整備部公園緑地課	公園活用グループ		芦川

・調査期日

令和4年5月17日（火）14時～15時30分

・豊島区の概要

人口 287,111人

世帯数 177,671世帯

・調査目的

近年多発する自然災害に対し、避難所の確保は重要である。公共空間を活用し、平時には公園、非常時には災害対応にも活用できる防災公園整備の知見を得る。

・調査内容

【豊島区からの説明】

ここにはもともと造幣局があり広大な敷地を有していた。昭和40年代後半から当地区の公園化に関する要望が継続して行われてきた、平成24年にさいたま市への移転発表後、平成26年に造幣局地区まちづくり計画が策定され、翌年豊島区からUR都市機構へ防災公園街区整備事業の実施が要請された。隣接する住宅地は日本有数の木造建築密集地となっており、火災に対する危機意識が非常に高く自主防災がなされてきたが、造幣局移転に伴い、火災を始めその他災害時に対応できる防災公園の整備が実際に進んだ。

跡地は防災公園の他に、市街地区画にも整備され、東京国際大学が建設中であり、大学とも災害時機能連携をし、物資の備蓄や帰宅困難者の受け入れを行なってもらう。もう1区画には現在仮設の保健所と、期限付きのキッズパークとなっているが、いずれURによって木造住宅密集地域解消のための住宅が整備される予定である。

防災公園の設備であるが、全体的にフェーズフリーの考え方で、平時に使用している物が災害時にも対応できるように整備している。公園中心部にヘリポートが整備されているがパッと見では分からないようになっており一時避難場所や救急物資の搬入、集配拠点として機能する。物資は備蓄倉庫の方に保管される。ここは一時避難所であり、隣の小学校が実際の避難所となる。木造住宅側の防火樹林帯には燃えにくいシラカシを植え、火災の延焼を防ぐことが出来る。非常トイレはよくあるマンホールトイレではなく水洗で、下に貯水槽があり非常用電源を使い、停電時でも使用できる清潔なものである。回流式の応急給水槽では100トンの飲料用水を確保出来る。

区は池袋駅を中心にここを併せて4つの公園を整備し、公園を核としたまちづくりを進めているところであり、賑わい創出のため地元企業に積極的に入ってもらうためパークPFIを採用した。開催しているファーマーズマーケットでは一日3,000人が訪れている。国際アートカルチャー都市として活性化させるため、IKEBUSという周遊バスを走らせ回性を高めている。

【質疑応答】

Q 周辺道路の整備は行われぬのか

A 周辺マンション、また市街地B地区に建つ予定の集合住宅への住民移動に合わせて都市計画道路を整備する。

Q 移動式店舗に供給する電気や水道はどちらが整備したのか。

A 電気水道は区で整備をし、使用料をもらっている。

Q 隣に建つ大学のキャンパス的になるとも思うが使用料は発生するのか

A 使用目的にもよるが、通常は有料想定していない。

Q 指定管理の運営状況はどうか

A コロナの影響もあり、苦戦している。よい方策を考えていかなければいけない。

Q この用地は防災公園以外も検討されたのか

A 地元の要望が昔からあり、土地が確保出来れば公園整備ということになっていた。国の補助金も活用できた。

Q 地下水は飲用可能な物か

A 鉄分が多く飲用不可である

Q 通常トイレの特徴はあるか

A オストメイト対応の多目的トイレが二つ、男性トイレにもおむつ替えスペースがある。

Q 避難時に受け入れられる人数はどれくらいか

A 2,500名を想定している。

Q 今後の利用計画等はあるか。

A 防災公園であることをもっとPRしていく。防災に関するイベントなどを多く行うことによって、普段使う公園が防災公園としても機能するということを周知してもらう。

【呉市での展開の可能性】

呉市でも平成30年に産業建設委員会に報告の後発災した7月豪雨の経験をふまえて、中央公園の再整備が進められているところであるが、コロナの影響もあり事業が遅れている、その間、真に必要で、改良の余地のあるものはこういった先進事例がどの様に運営されていくかを参考にしていくのが良いと感じた。特にトイレは災害時のものも水洗で清潔に使用できるとのことで、災害時の衛生面、また避難者の健康を考えたとき、このような整備が出来ていると良い。普段から賑わい創出の場としても中央公園が有効に利活用されることが、市内の活性化にも資するものである。

東京都新宿区

■防衛省市ヶ谷記念館施設見学

・調査対応者

防衛省陸上幕僚監部管理部庶務課 2等陸佐 池田壮雄

記念館担当職員

ガイド

・調査期日

令和4年5月18日（水）9時30分～12時

・新宿区の概要

人口 343,662人

世帯数 220,166世帯

・調査目的

歴史の舞台となった陸上自衛隊市ヶ谷駐屯地1号館が市民運動によって保存された。後世に伝える貴重な資料館を見学し文化財の今後の利活用と平和の希求を考え、大和ミュージアムへの参考点をも探る。

・調査内容

記念館拝観に先立ち、防衛省敷地内に建つ慰霊碑に参拝、陸海空それぞれの立場にて不幸にも亡くなられた御霊に哀悼の誠を捧げる。

記念館では、この地に移転することになった際に当初の取り壊し予定から市民運動が起こり、20万の署名を集め国会を動かし一部保存を決定させた一連の経緯を聴き、東京裁判でも使用された歴史の証人である大講堂では極力当時のままの部材を移設したことの貴重さ、空間を大きく格式のある物に見せるための工夫や、三島由紀夫事件の実際の場所、そこに残る刀傷等を拝見し、当時の物が現物として残ることの重要性、多くの来館希望者を受け入れる事で、歴史を正しく学ぶこと、また後世に伝えていくことの重要性があることなどの説明を受けた。

・質疑応答

Q 床の部材もすべて当時のままか

A 約7,200枚あるうち、どうしても使えなかった約400枚を除き当時のものである。

Q 大人数が写っている写真はこういった物か。

A 昭和9年群馬県で行われた特別演習後のもの、陛下を中央に3,800名の将校が写っている。すべての人物の顔がはっきりと確認できる非常に技術の高い貴重な物である。

Q 一部保存とのことだが、何を基準に残されたのか

A 象徴的なものを選んで残した。陛下のご休憩所であった旧便殿の間、旧陸軍大臣室、大講堂とバルコニー等である。

Q 三島氏が使用した日本刀は現在どうなっているか。

A 事件後に家族に返還されて以降、現在は所在不明である。発見されれば大変貴重な物

・呉市での展開の可能性

文化庁において瓶家財保存活用地域計画が策定され、呉市においても昨年度から委員会が組織されて、地域に眠る新たな文化財の掘り起こしや、利活用を積極的に行うことにより、広く市民に文化財に対する理解と意識を深め、将来にわたって永く保存されていくことに取り組まれている。とりわけ陸軍同様、海軍とゆかりの深い呉市では、まだまだ多くの歴史的資料や文化財が発見される余地が残されている

と感じる。一度は取り壊し予定であった旧1号館がこのように残されている意義は大きく、呉市も歴史的遺産を可能な限り残し、有効活用していくべきだと考えるものである。